



International
Women's Day

「国際女性デー」です！！

◆ 2025年のテーマ ◆

「すべての女性と少女のために：
権利、平等、エンパワーメントを」

国際女性デーは、女性の権利を守りジェンダー平等の実現を目指すため、1975年、国連によって制定されました。記念日に選ばれた3月8日は、1904年にアメリカで女性労働者が婦人参政権を求めてデモを起こした日です。このデモを受けて、その後1910年にコペンハーゲンで行われた国際社会主義会議において、女性問題にかかわるあらゆる要求を国際連帯の下に取り組んでいこうと国際女性デーが提唱され、世界的に広がっていきました。

世界共通の目標である持続可能な17の開発目標(SDGs)には、気候変動への取組やエネルギー対策とともに、貧困や飢餓の解消・教育や福祉の充実・ジェンダー平等など、誰一人取り残さない世界を目指すための目標が掲げられています。すべての人が暮らしやすい社会を作るために、ジェンダー平等は大切な一歩であり、国際女性デーはこのために活躍する世界中の女性を称える日でもあります。

イタリアでは、この日は「ミモザの日」と呼ばれています。「FESTA DELLA DONNA (フェスタ・デラ・ドンナ=女性の日)」とされ、女性に感謝を込めて、母親や妻、友人、会社の同僚などに愛や幸福の象徴でもあるミモザを贈る習慣があるそうです。イタリアでは、ちょうどその時期にミモザの花が咲き始めるため、暖かな春が来たことを告げる「幸せの花」と言われています。現在は世界各国に広がりを見せており、ミモザの色である黄色は国際女性デーのシンボルカラーとしても認知されるようになりました。

山梨県立男女共同参画推進センターでは、国際女性デーに合わせ、女性の活躍や男女共同参画に関する講演会やイベントを行います。ぜひご参加ください！



国際女性デー記念事業のお知らせ

輝く女性の大交流会
「女性と災害とトイレ」



■講師：白倉 正子さん
(トイレ研究家、アントイレプランナー代表)

■日時：3月9日(日) 13:30～15:30

■会場：ぴゅあ総合 大研修室

■対象：トイレに興味のある女性 50名

■参加費：無料(要事前申込)

様々な業種や立場の女性たちが集まり、ともに災害時のトイレ対策について考え、その声を女性の意思として家庭はもちろん、勤務先や地域の防災対策に反映できることを目的として開催します。平時の対策が災害時に役立ちます。誰もが安心して暮らせる社会を目指して、一緒にアイデアを出し合いましょう。そしてやがては、このつながりが女性たちの防災ネットワークとなることも願っています。

チャレンジシンポジウム「多様性を認めよう
～誰もが生きやすい社会を実現するために～」



■講師：堀内 麻実 さん
(anlib 株式会社 代表取締役社長)

■日時：3月15日(土)
13:30～15:30

■会場：ぴゅあ総合 大研修室(オンライン配信あり)

■対象：どなたでも 30名

■参加費：無料(要事前申込)

女性の多様なチャレンジや地域活動における女性の活躍をテーマに開催するチャレンジシンポジウム。今年度は、地域活性化に向けた活動を行っている堀内麻実さんを講師としてお招きし、ご自身のこれまでの経緯や取り組み事例、課題等をお話していただきます。また、後半のシンポジウムでは地域社会の持続的な発展のために活動している方々を招き、性別や能力に関わりなく誰もが活躍できる社会を目指すためにはどうすべきなのかについて、一緒に考える機会とします。